

1 筆記試験とは

筆記試験を行う目的は、大きく2つあります。

- ①「選考に進む人数を絞り込むため」と
- ②「基礎学力や職業適性を客観的に知るため」です。

受験する学生が多い企業では、筆記試験を採用試験の第一次選考として用いるケースがあります。

※「替え玉受験」等の不正行為は絶対に行わないこと

主な筆記試験の種類

名称	内容
SPI3 (エスピーアイスリー)	代表的な適性検査。言語（国語など言語的理解）、非言語（算数など数学的处理）の基礎能力検査と、性格適性検査で構成される。実施形式として、ペーパーテスト、web テスティング（自宅受検型 Web テスト）、テストセンター（会場受検型 Web テスト）、インハウス CBT（企業内受検型 Web テスト）がある。
ENG (イング)	英語テストとして代表的なもの。語彙力、文法、長文読解など「英語を読む能力」を測定するものでリスニングは無い。SPIとセットで使われるケースが多い。
CAB (キャブ)	SE やプログラマーなどコンピュータ職種の適性を診断するテスト。暗算、法則性、命令表、暗号の4種類の能力テストと性格テストからなる。ペーパーテスト。自宅受検の Web テスト版として「Web-CAB」がある。
GAB (ギャブ)	新卒総合職の採用で使われる総合適性テスト。総合商社・専門商社・証券・投資などの業界で多く使われている。言語、計数の能力テストと、性格テストで構成されている。ペーパーテスト。
IMAGES (イメジス)	能力テストの実施時間が短いことが特徴で、大量受検が来る人気企業を中心に利用されている。言語、計数、英語による能力テストと、性格テストで構成される。ペーパーテスト。
玉手箱	最も使われている自宅受検型 Web テスト。能力テストと性格テストで構成される。能力テストは計数、言語、英語からなる。
C-GAB	玉手箱の一部科目を専用会場（テストセンター）で受ける Web テスト。
TG-WEB (ティージーウェブ)	自宅受検型 Web テスト。能力テスト（言語、計数、英語）と性格テストで構成される。特徴は難解であり馴染のない問題が出題されること。テストセンターで受検する形式もある。
SCOA (スコア)	伝統ある大手企業でよく使われているテスト。能力テストと性格テストからなる。能力テストはいくつか種類があるが、言語、数理、論理、英語、常識（社会・理科）の5科目で構成される形式が一般的。ペーパーテスト。
クレペリン 検査	運輸業界でよく使われる。一定時間、横に並んだ隣り合わせの数字を足して回答の下一桁を記入していくもの。大量の数字をひたすら足し算する作業の経過と結果から性格適性を見る。
一般常識	国語・数学・理科・社会・英語などの基礎的な学力を見る。レベルは中学・高校程度。
時事問題	新聞やニュースで取り上げられている話題に関する知識が問われる。
論作文	指定された文字数内で書く作文。

2 面接の種類、入退室の流れ・マナー

面接の種類

選考の大きなウェイトを占めるのはもちろん面接です。短時間でいかに自分の人柄と長所を伝えるかが重要なポイントです。

個人面接	学生を1人ずつ面接する形式。面接官は1人又は、複数の場合もあります。より詳しく人物を理解するためじっくりと時間をかけ、多方面から質問が問いかげられます。近年では、WEB面接を採用する企業も増えていきます。
集団面接	学生複数名に対し、面接官複数名で行われます。選考の初期段階で行われることが多く、1人が回答できる時間は短くなります。1名ずつ同じ質問に答えさせられる場合が多いため、周りの意見をしっかり聞いておくことが大切です。短い時間で判断されるため、第一印象が特に重要になります。態度・表情・話し方に気を付けましょう。
グループディスカッション	グループで与えられたテーマについて議論し、グループとして意見集約するまでの過程を見る選考方法です。「組織の中でどういうポジションをとるタイプなのか」「課題に対してどのように取り組む人なのか」といった観点で学生を把握することが目的です。
グループワーク	複数名の学生を1グループとして、商品開発、企画立案などをテーマに共同作業を行い、結果を発表する形式です。
プレゼンテーション	学生一人一人が、面接官に対して、あらかじめ与えられたテーマに沿って、発表を行うものです。

入退室の流れ

「2つの動作を同時に行わないこと」が基本です。緊張感と集中力を持って落ち着いて行動しましょう。

受付時・控室	受付や控室での態度も見られていることを意識しましょう。
入室時	ドアを2、3回ノックし「お入りください」という中からの反応を確かめた後入室しましょう。ドアを閉めてから面接官の方を向いて「失礼いたします」とお辞儀をします。
着席時	椅子の横まで進み、面接官の方を向いて、姿勢を保ったまま「富山大学〇〇学部の□□と申します。本日はよろしくお願いたします」と挨拶しましょう。面接官から着席を勧められたら、「失礼します」と軽く礼をして静かに着席します。
面接中	面接中は、椅子の後ろ1/3を開け、背筋をまっすぐ伸ばして座ります。背もたれには寄りかからないようにしましょう。また面接官の顔を見るようにしましょう。質問をしていない面接官にも顔を向けることを忘れないようにしましょう。
退室時	面接が終了したら立ち上がり「本日はありがとうございました」と挨拶して一礼します。そしてドアの前でもう一度「失礼いたします」と挨拶、礼をしてから退室しましょう。

3 面接でのポイント

1. 相手の目を見る（目が見れない場合は眉間を見る）
2. しっかりと聞こえる声で話す
3. 表情豊かに、熱意が感じられるよう少し前かがみになるくらいでも良い
4. 考え込まず、できる限り即答を心がける
5. Yes、No だけで答えない
6. 覚えてきた答えを、思い出しながら暗唱しない
7. 質問を何度も聞き返さない（1回であれば問題ない）
8. 質問の趣旨からずれた答えをしない
9. 「わかりません」とはなるべく言わない
10. 面接官や、集団面接であれば同席するほか他の学生の意見に相づちを打つ
11. 集団面接であれば他の学生の意見を踏まえた発言をし、できる限り、同じような意見を言わない
12. ダラダラと回答せず、簡潔に論理的に意見を組み立てる
13. 何を言いたいか、結論から述べ、後から理由や説明を添える
14. ポジティブな視点に立った意見を言う
15. 会話のキャッチボールになるようにつとめる（面接もコミュニケーション）
16. 親しみやすさを感じさせるように心がける
17. 「あれも、これもやってきた・・・」などの自慢話に終わらせない
18. 緊張しないことは無理なので、「集中」という意識で臨むほうが緊張はほぐれる
19. 逆質問等あれば、積極的に質問していく

質問の可能性が高い「志望動機」・「自己PR」・「学生時代に力を入れたこと」では、以下の点を確認しています。

志望動機・・・企業研究・理解の深さ等により、学生の志望度合・入社意欲の高さを確認しています。

自己PR・・・これまでの経験・行動から価値観、職業観、有する能力、行動特性等より、企業風土や考え方と合う人材か、求める人材か、貢献してくれそうな人材かを確認しています。

学生時代に力を入れたこと・・・学生時代での活動・行動内容等から有する能力やどのように問題解決したのか、行動を取ったのか、そこから何を学んだのか（成長できる人材か）、それをどのように企業で活かし貢献できるのか等、企業とのマッチング、個人の成長性等を確認しています。

4 面接でよく聞かれる質問例

面接での主な質問は、①自己PR、②志望動機、③学生時代力を入れたこと、ですが、他にも様々な観点から質問されることが考えられます。面接官が知りたいのはその人の、意欲や能力、人柄です。またその企業や志望職種との相性や適性も見ようとしています。質問の意図を考え、自分の言葉で答えることを意識してください。

【主な質問】

- ・ 自己PR
- ・ 志望理由
- ・ 学生時代頑張ったこと
- ・ 長所、短所
- ・ 自分の強みを当社の業務でどう活かせるか
- ・ 得意な科目
- ・ 休日の過ごし方
- ・ 最近関心のあるニュース・話題
- ・ 大事にしていること
- ・ 社会人として働く上で大切だと思うこと
- ・ 入社後の意向（希望勤務地、転勤について）
- ・ 就職活動の状況（併願先など）
- ・ 当社への提案や質問
- ・ 好きな言葉（座右の銘）
- ・ 仕事選びの基準
- ・ 将来のキャリアビジョン

5 グループディスカッションのテーマ例

- ・ 働きやすい社会とは
- ・ 強い組織とは
- ・ 社会人に必要な能力
- ・ 働くのに必要なのはお金かやりがい
- ・ 今後の大学教育に必要なこと
- ・ 当社の新規ビジネス
- ・ ○○業界のキャッチフレーズ